

● **里山農園一斉草刈り総行動** 24日10時5人 13時3人 15時3人 25日10時3人 13時0人 15時2人 合計21人が参加され、有意義な講習会と実習体験が進みました。里山農園では月水金の100円コーナーへの出品活動に、かなりの時間を割いて活動いただいています。1号地2号地での栽培に作業時間のほとんどを使っています。周囲の草刈りにまで手が回らないのが現状で、かなり激しく夏草が繁茂しています。今回この草刈りを行うために皆様のご協力をお願いしました。さしあたって、草刈機の使用が初めてというお方のご参加があった場合に備えて2時間の内、機械の構造にもご理解いただこうと刃先の分解とエンジンの仕組みなど、そして使用にあたっての服装や装備、そして草刈の基本姿勢や危険なポイント、キックバックやゴーグルの使用、作業者間の間隔や距離について学習しました。その後約1時間、基本的な基礎知識をもとに草刈実習を行いました。

● **事務局会議の改善 ペーパーレス** 10月の会議から開始する 出席者は自分のノートパソコンの持参をお願いします。私たちは20年の歩みを刻みました。その間数えればきりが無い成果を積上げられました。それは青色コピーを経てワープロから始まって今日では事務機器の飛躍的な発展パソコンの普及によるところが大きく、通信技術も、特に電話の発達にも見られます。会誌発行ではパソコンの性能アップや使用方法の安易化で原稿製作と連動した印刷機器の性能アップと製本作業の合理化が行われ、大発展を遂げ、懸念のカラー化に発展しました。事務処理はパソコンの活用が通常状況であります。里山の会では10年一日で改善が必要です。今回初めて会議レジメをパソコン化する試みを行います。各位には何かとご不自由をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

● **木津川に関する諸問題を整理してみると** 今年の始め河川協力団体として認証されました。この間具体的な進歩や変化は全く見られませんでした。当て外れという状況です。そこで現在の木津川における里山の会から見た木津川の問題や課題は **1親水公園化への施設充実 2絶滅危惧植物の保全管理 3草刈りと植物保全活動 4河川協力団体としての働き 5ベンチの設置と休憩所の設置 6トイレの設置と実現への運動、続いて設置場所の検討、などがピックアップされます。**各位におかれましては、いろいろと改善点がおありだと思います。各位のご意見をお聞かせいただければ有り難いです。大至急届けてください。楽しみにお待ちしております。

● **朝市25日 団地朝市 さっぱり売れず** 前回の11日の朝市で連合自治会の役員さんがおられなくても朝市の開催が決定されました。里山の会農園部会の皆さんも意気込んで常になくいい品物をと準備に力を込めました。ところが客足が遠のいて、さっぱり販売が進みませんでした。事前の呼び込みや案内など、仕掛けが不十分で、新鮮野菜が販売されているということが周知されていないので、せっかく準備した野菜が売れ残りました。やはり団地ではスピーカーによる呼びかけが行われないと、難しいということがよくわかりました。

● **週刊ニュースを全会員に届けよう 皆さんの協力が必要です** 週刊ニュースは636号となり毎週連続で発行されてきました。しかし100%届け切れていません。現在の配信率は、メール：46%、ファックス：22%、手配り：12%、無配達：24%という状況で、約1/4の会員さんに週刊ニュースが届けられていません。そして同数の会費未納入という事態も判明しました。あまり面白くもない週刊ニュースですが、今何をしようとしているのか、どういったことを行ってきたのが最低お分りになると思います。こうした情報の共有化を最低の目標に発行が進んでいます。手配りにご協力ください。お近くの会員さんと顔見知りになっていただきたいし、そのきっかけとなればいいと思います。お手元の電話番号やメールアドレスをご連絡ください。配信させていただきます。

● **会費未納者への納入ご協力を** 里山の会の財政の内、最も大切な財源が会費収入であります。昨年にもこの時期、同数の会費未納入者がおいでになりました。その多くの皆さんが2年連続となっており、在籍者の皆さんには何とか、会誌の表紙のカラー化を実現して、財政もかなり厳しくなっていますが、みんなで努力を重ねて頑張って維持を図っています。40%に近い会員様からの会費未

納入ということになりますと重大な財政負担となりひっ迫してくるのは必定です。今年は大きな威力を発揮している自走式の草刈り機ハンマーモアのエンジンが破壊して、修理費に16万円もの出費となる事態になりました。印刷機も使用可能期限をはるかに超えて、修理に修理が重なる中で使い続けています。いつ何時印刷機の使用が不可能になるかもしれない状況に立ち至っています。どうかこうした事態に備えるために、会費未納者への納入を促進する必要があります。どうかご協力をお願いいたします。なお会員さんをはじめ活動に賛意をお持ちの皆様にはぜひご寄付のご支援をお願い申し上げます。

● **会員の減少傾向から増大へのご協力を 200 人の大台を割り込む危険** 会員の減少が続いています。このままだと 200 人の大台を割り込む可能性があります。お誘いあわせください。楽しい取り組みが一杯です。

● **事務局会議から** 8月に愛知用水や河川展望台の県外現地研修会に窺ったときのメイン訪問施設が布土白砂の丘＝一向山磨砂産業史跡でありました。ここは桜谷先生のご紹介があって尋ねました。又里山農園の20m程奥に水取で磨き砂を売り出していた遺跡があって、その洞穴も現存しているのです。ここを地域の歴史財産として存続させるではないかと桜谷先生から提案をいただきました。当日の会議では、里山の会の取り組みにしないで地域の資産として活用するには地元の自治会や区、もちろん京田辺市などとの行政と連携しながら取り組みを進めてはどうかという発言がありました。そうした方法について地元との話し合いも積極的に取り組みましょうと一致しました。こうした取り組みの拡大が始まりますと、里山農園の日ごろの管理をさらに重視して、整理整頓などにも十分時間を取る配慮が必要になりますね。

竹蛇籠設置1周年 **参加者募集 無料**

生き物調査

10月8日 (土) 集合時間厳守

午前10時より午後2時30分

集合場所 玉水橋東詰 前回竹蛇籠製作場所
指 導 竹門康弘 京都大学准教授
申し込み 不要 現地受付
持ち物 胴長 弁当 水筒 手袋
ライフジャケット 筆記具 手拭

小学生の参加は保護者同伴のこと

主催 河川レンジャー グループレンジャー

共催 NPOやましろ里山の会 0774-64-4183

共催 京の川の恵みを生かす会 075-38-4253

支援 国土交通省淀川河川事務所